

社会福祉法人 アス・ライフ

伝書鳩



2021 新春号

TEL 083-902-6630

FAX 083-902-6664

E-mail : swc-us@wit.ocn.ne.jp

謹んで新春のお喜びを申し上げます。



皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
旧年中は当法人の活動に対しまして沢山のご高配を頂き誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

去年は、世界的なコロナウイルス感染によりオリンピック・パラリンピックをはじめ様々なイベントが延期中止となりました。私たちの生活にも行動の制約や働き方など社会活動の在り方を考えさせられた1年となりました。早く平常が戻ってくることを願っております。

アス・ライフは地域のかかわりを重視し、生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援、通所介護の施設を山口市中心商店街近辺という立地条件に設置しております。特に白石地区民生委員の皆様方とは例年イベント・行事などを通して交流を深めさせて頂いております。去年はコロナ感染防止対策もあり、リモートを使つての意見交換やポッチャの研修を開催させていただきました。当法人の商店街関係者の理事や評議員のお力をお借りしながら地域の方々と交流を図りインクルージョンな活動を今年も行っていきたいと思ひます。地域の中で、障害・年齢・性別に関係なく共に暮らせる共生社会の実現に一歩ずつ前進出来ればと考えております。

さて、今年は牛年です。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は“我慢”や“発展の前振れ”を表す年になると言われています。コロナウイルスの感染拡大で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれません牛の歩みも千里といひます。地道に一歩一歩突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいと思ひます。

本年もどうぞ宜しくご支援ご指導の程、お願い申し上げます。



理事長 藤田 英二

各センターから今年の抱負



○生活介護事業アス・ライフ 管理者 佐々野久男

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されてしまい、終息することなく年を越してしまいました。私たちの生活様式もコロナ禍で必然的に大きく変わり、いろいろと不便さや、制約を強いられています。

振りかえれば、4月には新しい利用者さんが13人も増えました。活気に満ちたスタートでした。しかし、途中から徐々にコロナの影響で利用を休止しなくてはならない利用者さんも増加しました。

恒例行事の『リンゴ狩り&バーベキュー』が中止になり『クリスマス会』も外部のゲストを招聘することも中止となりました。厳しい状況の中でも、施設内での「ポッチャ大会」や「施設内リンゴ祭り」などでみんなが工夫をしながら楽しく、盛り上がった行事ができたことは喜ばしいことだったと思いました。

新しい年を迎えましたが、まだまだ厳しい「新型コロナウイルス」対策・対応に追われることと思います。利用者の皆様、ご家族の皆様、そして職員一丸となってコロナウイルスに打ち勝とうではありませんか。そして、新しい年が、平穩で楽しく過ごせる一年になりますように。



○就労支援事業 アスワーク 管理者 岡村慎二郎

昨年は、オリンピックイヤーから一転、コロナ対策で一年が終わってしまいました。コロナの影響で年度初めは減産に伴い受託業務の減収などもありましたが、第二・四半期以降は企業をはじめ一般家庭、市

役所からの環境整備を中心とした請負作業などで多忙さを極めている印象があります。これも発注先からの信頼を得るよう作業を確実に仕上げるよう、日々たゆまぬ努力を続けていた結果と自負しております。

このような中でも、就職を目指すメンバーのために職場実習やハローワークでの職業相談も進めています。アス・ワークとして、昨年も1名の就職者を出すことができました。また、年明けには実習生として新たな職場を求め訓練を行う予定もあり、利用者メンバーが減ることで、請負業務の遂行は益々大変になりますが、企業へと巣立っていく事は最重要目標と捉え、今後も更なる就労並びに定着支援を進めたいと思います。



リンゴ狩り(阿東)



食事会(奈のは)



花見(小鯖)



作業風景



○ 放課後等デイサービスなかぞのフォア・アス 管理者 岩村智子

新年明けましておめでとうございます。

なかぞのフォア・アスは開所から13回目のお正月を迎えることができました。

昨年は、新型コロナウイルスの関係で、校外学習の時間が削減するなど残念なこともありましたが限られた中、職員のアイデアで楽しく活動しています。

本年度もできるかぎり、幅広い経験を積んでいただけるように計画を立てて活動し、子どもたち・職員が笑顔で過ごせるフォア・アスになるよう、職員一同取り組んでいきます。本年もよろしくお願いいたします。



○放課後等デイサービスおおいちフォア・アス 管理者 宮崎美和

あけましておめでとうございます。

おおいちフォア・アスは5回目のお正月を迎えました。昨年はコロナウイルスによる影響を大きく受け、休校の延長、夏休みの短縮、学校行事の変更、中止など、子どもたちも我慢の一年だったと思います。おおいちフォア・アスも、毎年子どもたちが楽しみにしていた外出やプール等の活動ができず、もどかしい思いでした。

収束が見えず、今年もまだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、感染予防をしながら、子どもたちの「やってみたい」を大切に、成長を見守りながらサポートしていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。



○放課後等デイサービスみらいフォア・アス

児童発達支援管理責任者 藤本 緩子



新年明けましておめでとうございます。

おおいち（みらい）フォア・アス2Fが開所して4回目のお正月を迎えることが出来ました。昨年はコロナのため大変な年になりましたが、感染対策（消毒・マスク・3密の回避）を守りながら過ごすことができました。暖くなると活動範囲が拡がり、夏休みには、「うべかま工場見学」「ほたるの里」「徳地少年自然の家」等に出かけて楽しい思い出をたくさん作ることができました。作業では、「サンデー山口の折込み作業」を中心に、新しく「お手伝い表」を設けて、皿洗い、花の水やり、帰りの会の司会、テーブル拭きなどを表示して子どもたちに取り組んでもらっています。また、リサイクル封筒作りも新しく取り組んでいます。

まだコロナの終息は難しいですが、元気な子どもたちと一緒に、できる事を少しずつ重ねて、将来に繋がられるように頑張っていきます。



○大市デイサービスセンター 管理者 武安あゆみ

新年あけましておめでとうございます。

去年は、お花見やぶどう狩り等、外出機会が少ないご利用者様にとって、楽しみにしていた外出レクが行えなかったのが残念でなりません。

限られた条件の中ですが、ご利用者様に喜んでいただき、大市デイサービスセンターに来て良かったと思っただけよう、職員一同で頑張っていきたいと思えます。

何かと不便が多いですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。



○アス・ヘルパーステーション 管理者 中西愛子

新年明けましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルスの感染症が世界に流行するなど、厳しい一年になりましたが、皆様と無事新春を迎えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

職員は出勤時の検温等健康管理に細心の注意を払い、今後も感染予防に最大限の努力をまいります。

介護保険サービスの訪問介護は、「できること」「できないこと」がルール化されていて全てをカバーすることができません。保険外自費でのサービスを合わせて提供することで、趣味を続けることもできるようになります。

今年は丑年です。丑年は「耐える」、「これから芽が出る」というような年になるといわれています。

新しくやって来る2021年はコロナ禍をみんなで乗り越えて明るく笑顔で満ちた年にしたいですね。

今年も宜しく願
いいたします。

